別添資料

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：5年3月17日　　事業所名　La・Puule 住之江

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		利用児童の特性を考慮した人員配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			前回の評価表の結果を踏まえて業務内容の改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに掲載している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		非常勤職員の研修機会が少ない為、常勤勤務職員の受けた研修内容の伝達研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者に加え、職員間でも課題の分析を行い保護者と相談の上、計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		必要に応じて医師の診断書や心理士の診断書を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		分野に特化した職員によって立案と提供を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎日、日替わりでプログラムを提供している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休校時は、利用時間が長くなるので１日のスケジュールを自身で立ててもらう取り組みを行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		必要に応じて、打ち合わせを行うが毎日行えていないので、毎日行えるよう改善していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		必要に応じて、打ち合わせを行うが毎日行えていないので、毎日行えるよう改善していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		保護者にも家庭での様子を書いてもらいより良い支援に繋げれるよう工夫している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		送迎時の保護者との会話を大切にし、常に計画の見直しの必要性の判断をを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者の希望があれば、懇談等にも同席を行い情報共有や支援方針の共有、統一を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		重症心身障がいの支援を当施設では行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		コロナの兼ね合いにより機会を設けていない。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、保護者との会話を心掛け情報の共有や状況の報告を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者向けの研修などへの声掛けも行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学時、契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて、家庭訪問や事業所内で相談を聞いてアドバイスをしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナの兼ね合いにより機会を設けていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速、かつ、誠意をもって納得いただけるよう対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月間お便りを配布し、行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		否定的な表現を使わないことや子供本人の会話をするときは本人には聞こえないように等の配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナの兼ね合いにより機会を設けていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルは、いつでも閲覧できるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事例のDVD等による研修を定期的に行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に身体拘束の説明を行ったうえで、拘束が必要になる可能性のある児童に関しては計画書に記載し、再度、保護者への説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		診断書が無い場合には、該当物の入ったおやつの提供は控えている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			